

第二学年通信

愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

NO.5

令和2年12月21日

2か月間の休校からスタートし、短い夏休み、中止や延期続きの学校行事とコロナの影響で様々なことが変わってしまった今年度も、もう2学期が終了してしまいます。今年は今まで当たり前だった様々なことを考えさせられました。「友達に会えない」「外出もできない、遊びにも行けない」など今までにないことを体験しました。「新しい生活習慣」もだんだんと身につけてきて、「当たり前前の生活習慣」に変わりつつあります。我慢の生活ももう少しで変わってくると思います。これからもコロナ感染予防に注意しながら生活していきましょう。

自分の抹茶碗作り ～陶芸教室～

11月21日(土)、今年はコロナ禍のため、AIRYU なでしこ祭(文化祭)の開催が難しくなり、代わりに陶芸教室を行いました。笠間市にある「大津晃窯」さんによる手びねりでの陶芸体験で、全生徒と教職員の約100名が思い思いに自分の作品を制作しました。学年ごとに3か所に分かれ、各学年に講師の先生が1名つき、1kgの粘土でそれぞれが2つの作品を作りました。2年生は、抹茶碗と自由作品を作ることにしました。次回の礼法から自分の抹茶碗を使用して、茶道を行う予定です。

生徒も先生も、自分のイメージに近づかせるため悪戦苦闘でした。丁寧に作ろうとすると、粘土が乾いてしまい細かいヒビが入ってしまうし、急ぐと形が崩れてしまいます。「講師の先生はあんなに簡単そうに作ったのに、何で？」とあちらこちらから聞こえ始め、生徒は「先生！先生！どうしたらいい？」と助けを求めていました。講師の先生は「ヒビも形も作品の味になるから大丈夫だよ」と優しくアドバイスしてくれました。苦勞の末作った作品は、大津晃窯さんが色付け・窯焼きをして後日、完成品が届く予定です。次回の茶道での抹茶はどんな味に変わるのか、今から楽しみです。



〈 全 員 集 中 し て 作 成 中 〉

生徒指導講演会実施(交通安全・薬物乱用防止)

11月20日(金)、竜ヶ崎警察署交通課の下道正太郎先生による「交通安全講話」が行われました。今回の講話の内容は、自転車も乗り方やルールを守らないと加害者になりうるということでした。DVDの中でちょっとした不注意から歩行者に大怪我をさせてしまったり、死に至らしてしまった例を見て、生徒たちは今までの自分を振り返り、今後はもっと注意を払う決意をしたようです。講演後「自転車も乗り方次第では、凶器になることもあるんだね」という生徒の声を聴きました。

翌週の11月27日(金)、茨城県薬剤師協会の高野真先生による「薬物乱用防止」についての講演会を行いました。今回は実際に薬物を摂取し、施設でリハビリをしている人の話をDVDで見たことで、生徒たちは薬物の恐ろしさを肌で感じたと思います。さらに、「友人や先輩に誘われた」、「なんとなく興味があった」など、些細なことが薬物乱用のきっかけになることも実感できたと思います。今までも授業などで薬物の恐ろしさは習っていましたが、今回のDVDは実体験を語っているためより生徒達の心に響いたようです。今まで以上に薬物の恐ろしさ、誘われても「断る勇気」を持つことの大切さを理解してくれたと思います。

2年竹組校外学習～国立科学博物館筑波実験植物園～

11月10日(火)、竹組がつくば実験植物園の見学に行きました。植物園では様々な日本の土地や各国の気候によって変化する植物を見学したり、研究員さんから日本に生育する植物の数や、その中の絶滅危惧種の多さなどを教えて頂き、生徒からは驚きの声があがりました。

園内は「世界の生態区」や「生命を支える多様性区」に分かれていて日本の代表的な植物、世界のいろいろな環境に生息する植物など約3000種の植物が栽培されています。園内では生徒たちは数グループに分かれて、木に関するクイズにチャレンジしながら園全体を見学することができました。

